

2015年度の事業報告と2016年度の事業計画（案）について

2016年7月7日

日本ペレットストーブ工業会

■2015年度の事業

日本ペレットストーブ工業会は、2015年7月31日に、正会員5社、賛助会員3社により発足しました。

昨年度の活動の中心は、住宅省エネ基準に対する取り組みであり、2020年の省エネ基準義務化に向け、ペレットストーブも評価項目となるよう働きかけを行ってきました。具体的には、国土交通省・経済産業省による「住宅省エネシステム検討委員会 ②設置込基準検討WG 木質燃料ストーブTG」に協力委員として参加し、業界の意見を汲み上げながら制度設計の提案を行いました。現行の詳細案については別途資料をご覧ください。

このTGが存在していることから、木質ペレットストーブに対する世間の期待が感じられ、安全性の向上なども通じ期待に答えていくことが必要です。

安全に対する取り組みは、まずペレットクラブ主催の「第2回全国ペレットストーブ安全技術講習会（9/17、18 岩手県花巻市）」に協力する形で行いました。また、会員企業の輸入・販売するペレットストーブの離隔距離試験が新潟県の上越環境科学センターにて始まりました。

これらの取り組みは、経済産業省、資源エネルギー庁、林野庁、環境省、東京消防庁などに対し、不定期に訪問し報告を行いました。

■2016年度の事業

引き続き省エネ基準に関する活動が大きな柱となります。9月頃に、省エネ性評価の具体的手順策定に向け、（一社）住宅性能評価・表示協会を訪問予定です。

安全性については、離隔距離試験が進行中であり、昨年度から3社の10機種が試験を行い、今後4機種を実施予定です。「ペレットストーブ安全技術講習会」については、昨年度同様にペレットクラブ主催に協力する形で検討中ですが、別途、認定技術者制度の検討や、そのベースとなるストーブ規格、設置基準、煙突規格の議論が必要と考えております。

普及PR活動については、昨年度から展示会出展を検討しており、65万円の広告宣伝費を計上していますが、展示会以外の方法も含めて具体的な検討が必要です。

最後に、市場動向の把握のため販売台数調査を実施したく、会員各社の協力をお願いいたします。